

行事の記録

クモの網標本の感想

多田実央

6月5日(日)、「クモの網の標本パネルづくり」に参加するため大阪城公園に行きました。この行事はクモの網を標本にするという企画で、長年クモの網標本を作り続けておられる船曳和代さんが講師として来て下さいました。

用意する物は、黒や紺のシッカリした厚紙、スプレー式のラッカー(白、透明)、塗りやすく薄めた水のり、水のりを塗るための台所用スポンジ、筆記用具です。やり方を簡単に説明すると、クモの網に白ラッカーを吹き付け、厚紙に水のりを全体的に塗り、クモの網を厚紙ですくい取るようにくっつけ、そのままよく乾かして、乾いたら透明ラッカーを吹き付ける・・・という感じです(図1、2)。

経験して感じたコツは、白ラッカーは多めに吹き付けた方が良いということです。そうした方がクッキリ綺麗に採ることが出来ました。もう一つは、網を厚紙に貼りつけるときに、枝に付いている糸を切らないことです。



図1：アシナガクモの網。

切れた糸が縮んでしまい、網が崩れて残念な事になります。他には、網を見つけた時に、クモの写真も撮っておいて、クモの種類を調べられるようにしておく事も大切です。最後は、採集年月日、採集場所、網の天地を記入しておきます。網の標本を採りに行くのは、晴天で風の無い日が良いそうです。

今回初めてクモの網の標本パネルづくりを体験させていただいて、クモにとっても興味を持ちました。平面的な網、立体的な網、複雑で細かい網、簡単そうに見える網・・・クモの網と言っても色々な形があるし、獲物のとらえ方も色々だからです。クモの網をきっかけにして、クモの生態などについても調べてみたら楽しいだろうなあと感じました。参加してからは、公園や山を歩くときに「あの網、採りやすそうだなあ・・・」とか、「この網は形が綺麗だなあ・・・」とか思うようになりました。自然観察の視点がまた1つ増えたような感じです。

最後に、一つだけ注意点があります。それは、公園や私有地などでは勝手にやらないことです。白いラッカーを吹き付ける時に、周りの木々にかかるからです。

<ただ みお：本会会員>



図2：みんなの作品(松本吏樹郎撮影)。